

	<h1>七松小学校 学校だより</h1>	<p>平成28年度 11月号 尼崎市立七松小学校 学校長 森本秀子</p>
---	--------------------------	---

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



読書は心のごちそう

～ オープンスクールのご参観, ありがとうございます ～

朝夕, 肌寒さが感じられる頃となりました。10月に実施しました参観週間には, 多数の保護者の皆様, 地域の皆様が参観してくださり, 本当にありがとうございました。いただきましたアンケートは全職員で拝見し, 来年度の参考にさせていただきます。また, 参観週間の期間中, 始業から終業まで受付をしてくださったPTA役員の皆様には心より感謝申し上げます。来る11月5日(土)は, 校内音楽会です。そして11月9日(水)は4年生が尼崎市音楽会(あましんアルカイックホール)に出演します。今, 本番に向けて, 一生懸命練習を重ねている所です。ぜひ, ご家族おそろいでご鑑賞くださいますようお願い致します。

さて, 実りの秋がやってきました。真心こめて育てられた農作物も収穫され, 私たちにとっては心も体も大いに充実する季節です。夜も長くなり, 秋の夜長を感じる頃, 読書に親しむのはいかがでしょう。読書は心のごちそうです。10月27日から11月9日までは「読書週間」となっています。1冊の好きな本との出会いがあれば, 読書が楽しくなります。ドイツのヘルマンヘッセという作家は, 子どもの時に一つのきっかけから読書の楽しさに目覚めました。家には, おじいさんが集めた古くてほこりをかぶった本が, 本棚にぎっしりと並んでいました。むずかしそうな本ばかりだと思いましたが, 2冊だけ気になる本がありました。『千夜一夜物語』『アリババと40人の盗賊』などアラビアに伝わる昔話を集めた本です。もう1冊は『ロビンソンクルーソー』の本。冒険小説です。開いてみるとすばらしい宝物を発見したと大喜び。それからヘッセ少年は本が好きになり, 後に偉大な作家になったそうです。読書によって読み書きの力がつき, 知識が広がるという基礎学力の向上はもちろんですが, 本は生きる勇気と希望を与えてくれます。毎日, 本を開くという良い習慣を身につければ, 生涯のかけがえのない力になります。

では, 子どもを読書好きにするには, どうすればよいのでしょうか。

- ①好きな本から読ませる。子どもに読書の興味や楽しさを味わわせる。
- ②親が読み聞かせてやる。とりわけ低学年の児童に対しては, 子どもが自分から手にとって読みたくなるまで, 気長に読み聞かせる。
- ③家族と一緒に本を読む。親が読書している姿を見せる方が口で言うより効果的。
- ④学校の図書室や図書館を活用し, 子どもを本のある環境で育てる。(何かの記念日や, ごほうびをあげる時は本屋に行くなど, 色々考えると楽しくなってくると思います。) 本を読む楽しさを知り, 本が好きな子が多くなってほしいと願っています。

学校ホームページ「校長室の窓から」(一部抜粋)『大型紙芝居パート2』



なかよしタイムに図書ボランティアのお母さん達が, 大型紙芝居を上演してくださいました。たくさんのお友だちで視聴覚室は大賑わい。立体的で迫力満点です。全て手作りです。

素晴らしいひと時をありがとうございました。